

- (1) 単元名： たのしく こえに だして
- (2) 単元目標： 声に出すことの快さを楽しみ、詩への親しみを持つ
- (3) 教材名： いろんな おとの あめ
- (4) 本時の目標： 雨が当たった音を想像して音をつくり、音のイメージを楽しみながら音読する。

北国小学校定臨の教師である。北国小は今回のK先生の授業研で、一通り全教諭が授業を公開したことになる。

うれしいの一言である。村内の定臨や臨時の教諭を含めほとんどの教師が教室を開き、授業の公開を果たしたことになる。

主事を招聘しての授業公開以外にも、校内における教師が互いに見せ合う互見授業は、数限りなく行われている。ベテラン教師のアドバイスをもらい、見せてもらい、まねてやってみる。まさに、教師の挑戦である。授業の上手い、下手は問わない、研究協議の視点にもならない、つねに、議論されるのは「子ども達の学び」がどうであったか?である。

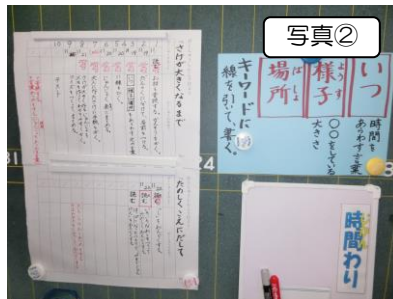
村内の先生方、「安心」して授業公開に臨んでほしい。今の「私なりにできる」を頑張ってもらいたい、焦らず、ゆっくり、淡々と、とにかく挑戦のつもりで前に進んで行ってほしい。不安を理由にとどまるのではなく未来へゆっくり進みゆくことへ期待します。



【教室経営】1年生女の子1名。2年生女の子1名 計2名。・・・どう思います?



写真①



写真②

国頭村へき地5校のほとんどが現実的に抱える課題である。

2名しかいない!しかも異学年、教師の不安や迷いが重々分かる。

写真①、たった二人の教室の掲示である。掲示物の資料は2枚ずつしかない。これで100%である。

写真②、国語の学習進行表である。最近、村内の小学校のどこに行ってもほとんど掲示されている。学習の出口に向かって学習意欲が喚起づけられる。

【大型資料】13:40 授業者は手書きの大型の詩を提示し学習を進める。



教師：詩って何?

子ども：短いお話。

実に分かりやすい。低学年にとって話が分かりやすいは絶対である。くどい説明や何度も同じ話を繰り返す教師ほど子ども達の集中力を途切らせる原因をつくっていることを理解したい。あっさりシンプルに「わかりやすく」を常に心がけたい。

右の写真、「モノ」は大切である。まさに百聞は一見にしかずである。モノを使って音を確認、さらに音のイメージを膨らませ、ここにはないモノへの想像を広げる。授業でモノが準備できるものは、つねに心がけて準備したい。素晴らしい!



【音読する】：「味わう」ことが絶対的な目的とされないといけない。二人の読みは聞こえる音声としては



明確に違う。つまり差がある、それでいい。自分なりに読み深めることが大切である。読み方がどうのこうのと問う場面ではない。授業者は、子ども達と一緒に範読し、その後、自分達だけでの読みに進めた。いろんな雨の音がある、子どもたちなりに楽しく読んでいるのが表情でわかる。一人だったらどう読むか？つなげたい。

授業者は「窓にあたる雨の音ってどんな音？」日常の生活につなげる。2回目の音読の後、本時の学習課題を提示する。

いろんなあめの音をつくって、楽しく読んでみよう。

2年生の女子が「え～」と声を上げる。最高の反応である。

【 ○○に、あめがあたって、○○な音。】3色の色紙を使って、いろんな音づくりを楽しむ。



授業者は、作業の進め方を一通り説明し書く作業へと促した。2年生の女の子はすぐに取りかかれたが1年生の女の子の活動が滞る

しかし、しばらく2年生の女の子の作業の様子をうかがい、手が動き出す。画用紙の色が無視された結果になってしまったが、「私なりに真似てやってみた。」ことになる。この1年生の行為をどうみますか？この子の評価をできるのはやはり担任である。「真似てやってくれただけでも…」語れるのは授業者しかいないのである。

2年生の女の子が作業中に何度か1年生の女の子に気づかう仕草が見られた。「私なりに」である。

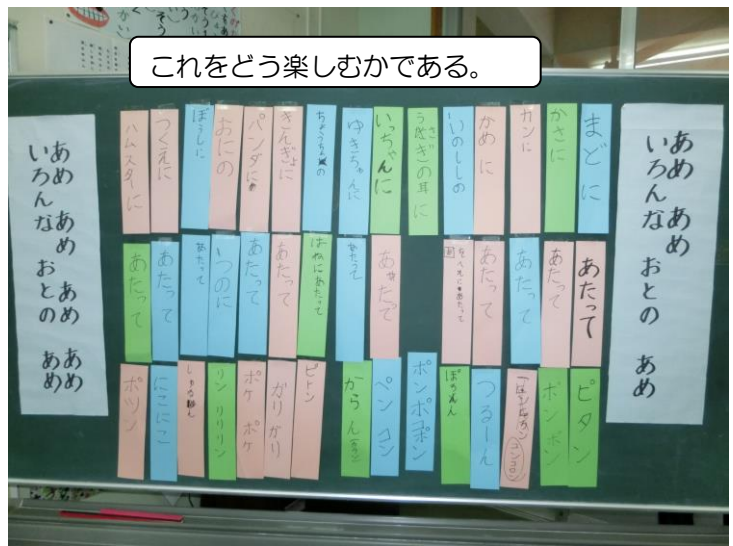


【創った音を音読して楽しむ】



授業者：「読んでみようか」淡々と読みを促す。2年生の女の子の「読み」がいい。右の写真子ども達の「楽しむ」の跡である。「なぜこの音にしたか？」ぜひ交流させてみたかった。

これをどう楽しむかである。



【研究協議会より】

《参観者より》

- 子ども達がびのびと楽しんで授業に参加していた。
- 今日の学習の流れや、めあての提示が子ども達を引きつけていた。
- 1年生の女の子が、2年生から「まねび」で学んでいた。  
1年生の女の子の学習へ向かう姿勢に、4月からしっかり成長が見れた。
- 最初の音読を子ども達だけで読ませると、もっと自分たちなりの「読み」から「学んだ」のではないかと。

《地区指導主事古波津先生より指導助言》

- 学習進行表の掲示は学習の見通しや前時までの歩みが確認できるのでとても良い。
- もう少し音読に時間をかけてもよかったかな。一人での読みを聴きたかった。